

## スマトラ沖大地震による深部低周波微動の誘発

### Triggering deep low frequency tremors in Japan from the great Sumatra-Andaman earthquake

# 宮澤 理稔[1]; Mori James[1]

# Masatoshi Miyazawa[1]; James Mori[1]

[1] 京大・防災研

[1] RCEP, DPRI, Kyoto Univ.

2004年スマトラ沖大地震から輻射された振幅の非常に大きな表面波によって、四国、紀伊半島、東海地方地下で深部低周波微動が動的に誘発された。震源距離は約5000km以上有り、動的トリガリングの明らかな例である。我々は表面波と観測波形の短周期成分(4-16Hz)の関係を調べた。表面波の到達時に、パルス状の波形が高周波波形に見出され、これらは深部低周波微動と同定された。この励起は周期的に起きており、表面波の周期と振幅に関連している。このような明らかな発生のタイミングは、深部低周波微動の発生メカニズムを解明するために重要な情報である。